



スピリット  
常中魂

平成28年 6月3日 NO. 15

〒311-1114 水戸市塩崎町1016

TEL029-269-2116

FAX029-269-3160

Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp

【ホームページで、カラー版が見られます】

## 静寂が心の安定を生む



## 宿泊を伴う行事無事終了

5月12(木)・13(金)の1年生宿泊学習、16日(月)から20日(金)にかけて行われた2年生の船中泊を伴う自然教室、さらには30日(月)から6月1日(水)にかけて行われた3年生の修学旅行を、それぞれ無事に終了することができました。

今年は、1年生から3年生まで、すべて天候に恵まれ、学校とはまた違った素晴らしい環境の中で、友との絆を深めることができました。

これら行事を通して数々の素晴らしいエピソードが生まれましたが、その中から一つ、3年生たちの建仁寺で行った座禅体験について紹介します。

3年生たちは、宿泊したホテルから建仁寺まで歩いて行きました。自分たち自身に、『ホテルから出た瞬間から私語を一切しない。』という学習課題を設定していたそうです。

そして、その課題通り、ホテル出発から約20の建仁寺までの行程で、無駄なおしゃべり、大声での奇声は一切聴かれませんでした。

当たり前、といえは当たり前の行動です。しかし、当たり前のことを当たり前に行けるとするのは、実は素晴らしいことだと思います。

本校には、『常中魂』という言葉があります。常中魂の基本は、「常に正しかれ」という教え(考え方)です。

自分が行動するときの判断規準は何でしょうか。何も考えないと、おそらく「楽しいか、楽しくないか」になってしまいがちです。

この規準だと、建仁寺までの20分間、3年生たちは、互いにおしゃべりをする。周りの通行人のことなどお構いなしで大声で笑う。「きゃー」とか「わー」とかの奇声を発する。自分たちだけは楽しいが、周りには不快感を振りまきながら歩くことになったでしょう。その方が断然楽しいと感じるからです。

しかし、3年生たちは、そうしませんでした。

自分自身の行動を、「正しいか、正しくないか」で決める。

それができていた3年生たちの上の写真には、常中生としての誇りが感じられます。

